

令和5年度 学 校 評 価 総 括 評 価 表

徳島県立富岡東高等学校（定時制）

| 重点課題 | 重点目標 | 評価指標と活動計画 | | 評 価 | | 学校関係者の 評価・意見 | 次年度への課題と 今後の改善方策 | |
|---------------------------------------|--|-----------|---|-----------|---|---|---|--|
| 基本的生活習慣の確立を図り、望ましい校風を樹立する。 (挨拶の励行) | ①挨拶を励行する。 ②出席率を向上させる。 ③個人面談を充実させる。 | 評価指標 | ①日常生活における挨拶を励行することで基本的生活習慣を確立する。 ②さわやかで活力あふれる富東生を目指し、出席率を85%以上とする。 ③個人面談を実施し、生徒とコミュニケーションを図ることにより、生活習慣・学習状況等の把握に努める。 | 評価指標の達成度 | ①登校時の挨拶指導で、生徒から教員へ話しかける場面が多く見受けられた。 ②2学期末現在の全学年の出席率は、1年生90.77% 2年生 83.58% 3年生 91.12% 4年生 84.17%である。1・3年生で85%を上回ることができた。全体では86.0% (昨年90%) ③各学期当初の個人面談によって、生徒の生活習慣や学習状況等を把握し、適切な指導を行った。 | 総合評価 (評定) B ----- (所見) 生活習慣改善は目標を上回ることができた。挨拶指導や個人面談を通じ、良好な関係が醸成されている。 | 85パーセントという表面的な数字だけでなく、生徒それぞれの状況を考えて関わってほしい。 スクールカウンセラーとの面談を現在は1年生のみが全員となっているが、出席率が落ち込む、2・4年生にも実施したらどうか。生徒から話しかけにくい場合もあるので、できるだけ先生の方から歩み寄ってほしい。 | 全学年で出席率85%以上を保つことができるよう、励まし等の指導を継続し、家庭との一層の連携を図る。具体的には欠席連絡がない場合は、こまめに家庭へ電話を入れる。10日以上欠席が続いた場合は、生徒及び保護者にカウンセリングを勧める。何か困ったことがあり、学校に協力できることはないか問いかける。等である。 |
| | | 活動計画 | ①毎日の昇降口指導を実施し、生徒への声掛けを積極的に行う。 ②各学期毎に、個人面談週間を設定し実施する。 | 活動計画の実施状況 | ①毎日、できるだけ多くの教員で校門及び昇降口指導を行った。 ②年間3回の個人面談を実施した。 | | | |
| 職業と学業を両立させるたくましい精神力と豊かな人間性を育成する。 | ①たくましい精神力の育成に向け健康相談・教育相談を充実させる。 ②関係諸機関との連携により、個々の生徒に応じた就労支援を行う。 | 評価指標 | ①課題の把握により、教職員の共通理解を図り、支援方針を立て解決を目指す。 ②就労生徒へのサポートを行い、職業と学業の両立を図る力を育成する。 | 評価指標の達成度 | ①1月末現在の生徒の「健康相談」の件数は、1件であったが教職員間で共通理解を図り、日常的に支援している。(昨年2件) ②就労率は1月末現在で57.9%であった。継続してサポートしていきたい。(昨年45%) | 総合評価 (評定) B ----- (所見) 生徒の現状を把握し、教職員の共通理解を図り、適切な対応をすることができた。 | 「自尊感情」「自己肯定感」を高めることは非常に大切。何か行動を起こすときには、自信を持って取組めるよう今後も生徒との関わりを継続してほしい。 高校で学んだことや、得たことを糧にして、出口である進路に向けての取組を期待したい。 | 以下、フィードバックし指導に生かす。 ①カウンセリング的「健康相談」の継続 ②多様性に応じた新事業による講演 ③就労意識高めるHR活動 ④ハローワークとの連携 ⑤「自尊感情測定尺度」アンケート及び分析 |
| | | 活動計画 | ①職員室隣室を必要に応じて使用し、スクールカウンセラーと協同して支援にあたる。 ②関係諸機関と連携し、就労に関する情報の収集を行い、個々の生徒に応じた就労相談・職場訪問や開拓等を推進する。 | 活動計画の実施状況 | ①1年生全員に、入学時にスクールカウンセラーが面談を行い、高校生活についての不安な事などを聞き取り、支援した。 ②ハローワーク等とも連携し、個別相談を行ったり、就職相談会や企業見学に参加する生徒を引率したりするなど就労支援に努めた。 | | | |
| 生徒一人一人の基礎学力の向上と進路指導の徹底を図る。 | ①「漢字スキル学習」を中心に、基礎学力の向上を図る。 ②各種資格試験や検定試験にチャレンジさせ、知識・技能の向上を目指す。 ③ICT機器を有効に使用し、スキルアップを図る。 | 評価指標 | ①漢字スキル学習では、各自に応じたレベル別の課題に取り組み、40%以上の生徒が上のレベルに上がることを目指す。 ②各種資格試験や検定試験の受検者数30パーセント以上を目指す。 ③各授業でのICT機器の活用率20%以上を目標とする。 | 評価指標の達成度 | ①漢字スキル学習では100パーセントの生徒が上のレベルに上がることをできた。 ②各種試験の受験者数はのべ10人で、52.6%であった。全商ビジネス文書実務検定1級に速度・文書共に合格した。 ③2学期末時点における各授業でのICT機器の活用率は47.6%であった。(昨年45%) | 総合評価 (評定) A ----- (所見) 年間を通したそれぞれの活動を通じて、自己肯定感の向上や、卒業後の進路への展望を持たせることができつつある。 | 学校評価アンケートの「授業のわかりやすさ」で、教師回答より生徒回答の方が、スコアが高いのは、先生方が分かりやすい授業を常に工夫されているということがよく分かる。 来年度は「富岡東高校定時制へ入学して良かった」が、100パーセント(今年度は94パーセント)になるように努力してほしい。 | 中学校までの学習で、興味関心を持つ分野や基礎学力に大きな差異が認められる。そのため、社会に出るための必要な基礎学力向上及び定着のため、生徒が少人数であることを生かし、個別最適化した支援を行い、それぞれの生徒を伸ばす。 |
| | | 活動計画 | ①個々に応じた指導を心掛け、毎日の「漢字スキル学習」に取り組み、丁寧に字を書く練習を行うと共に、各教科担当教員と協力し受検奨励及び対策を行う。 ②資格試験の勉強や予習・復習を意欲的に取り組めるようにプリント等を準備し、基礎学力の定着を図る。 | 活動計画の実施状況 | ①毎日2時間目の始業5分間で「漢字スキル学習」を行った。 ②資格試験については、始業前に個別指導を行い、授業については、プリント配布に加え、電子黒板、生徒用タブレットを利用し、基礎学力の定着を図った。 ③全教職員で連携して取り組み、生徒のスキルアップに努めた。 | | | |

| 重点課題 | 重点目標 | 評価指標と活動計画 | | 評 価 | | 学校関係者の 評価・意見 | 次年度への課題と 今後の改善方策 |
|---|---|-----------|--|-----------|--|--|---|
| 家庭や地域社会との連携のもとに生徒指導の充実強化に努め、安全指導の徹底を図る。 | ①安全教育の啓発を行うと共に、災害時の対応力を養う。 ②生徒の情報共有のための職員打合せを毎日実施し、個に応じた生徒指導を徹底する。 | 評価指標 | ①安全教育の授業や防災・避難訓練と心肺蘇生・AED講習をそれぞれ年間3回行う。 ②生徒の情報共有のための職員打合せを毎日2回行い、生徒一人一人の課題に応じて、教員全員で粘り強く指導にあたる。 | 評価指標の達成度 | ①防災・避難訓練を3回、心肺蘇生・AED講習を2回実施した。新たに不審者対応訓練を、実施予定（3月）としている。 ②毎日2回の打合せによる12月末現在の生徒の情報共有数はのべ113名であり、教職員間で共通理解を図った。（昨年 62名） | 総合評価 （評定） B ----- （所見） 防災・安全教育を通し、安全意識の向上に取り組むことができた。又、家庭との連携も密にすることができた。 | 違法薬物が県南でも話題になっており、すぐ近くまで来ているという危機意識が必要だ。その点を踏まえた対策をしっかりと行ってほしい。また、不審者の侵入対策も、引き続き行ってほしい。 |
| | | 活動計画 | ①年間計画に沿った安全教育や防災・避難訓練を通じて、災害に対する事前準備と、災害発生時の正しい対応力を身に付けさせる。 ②生徒の情報共有のための職員打合せを毎日実施し、様々な情報を共有することで、個に応じたきめ細やかな指導を行う。 | 活動計画の実施状況 | ①命や生活の大切さを考えさせ、自主的に安全な行動ができるよう指導した。 ②生徒の情報を教職員間で共有し、話し合いを重ね、きめ細かな指導に結び付けた。 | | |
| 教育活動の全領域において人権教育の徹底を図る。 | ①いじめ等の問題行動の未然防止に努める。 ②人権講演会や職員研修を充実させる。 | 評価指標 | ①いじめ・悩みアンケートを年間3回、基本的生活習慣調査を年間1回、それぞれ実施し、それを基に面接を行うことで細かい対応をする。 ②人権講演会を年間2回実施し、人権講座等の研修会に全教職員が1回以上参加する。 | 評価指標の達成度 | ①当初の計画どおり各学期にいじめ・悩みアンケートを、1学期に基本的生活習慣調査を実施し、面接等で丁寧に聞き取りをした。 ②外部講師による人権講演会を2回実施した。 | 総合評価 （評定） A ----- （所見） アンケート後の面接で丁寧な聞き取りをし、生徒の状況把握及びフォローを行った。 | 県南唯一の定時制高校として、保護者を含めて多様化していると思うが、不登校の生徒が多いということで、今後は定時制の役割はどのような生徒への対応が中心となるのではないか。人数が少ない分、楽しい学校を目指してほしい。 |
| | | 活動計画 | ①各種アンケートを実施し、生徒の状況把握に努める。 ②研修受講後も意見交換をきめ細かに行う。 | 活動計画の実施状況 | ①把握した生徒の状況については教職員間で共通理解を図り、解決に向けて取り組んだ。 ②研修受講後のまとめや伝達により、教職員間で情報の共有を図った。 | | |
| 生徒の個性と自主性を開発伸長させ、有為な社会人を育成する。 | ①地域の清掃ボランティア活動への参加を促す。 ②個性発揮の機会として、定通連の美術作品展や球技大会等への参加を奨励する。 | 評価指標 | ①清掃ボランティア活動を年間1回実施する。 ②定通連球技大会への参加を15%以上、美術作品展への出品数を20以上にし、様々な校外行事への参加率を55%以上とする。 | 評価指標の達成度 | ①予定の日に雨天だったため、校舎内の清掃を行った。 ②定通連球技大会は26.3%出場（卓球女子個人の部で全国大会出場）、美術作品展の出品数は25、入賞数は1、校外行事への参加は59.7%であった。 | 総合評価 （評定） A ----- （所見） 様々な体験的行事を開催することは、生徒にとって有意義であった。 | 清掃ボランティアでは阿南駅を清掃し、職員の方にも大変喜ばれている。社会貢献の体験や各催しへ参加することで、奉仕の精神や自主性を高め、社会人としてのマナーも身につけて欲したい。 |
| | | 活動計画 | ①地域の清掃活動へ参加することで地域社会に貢献し、社会への主体性と奉仕の精神を養う。 ②美術作品作りや球技大会の練習等について、各教科の教員にも協力を得る。 | 活動計画の実施状況 | ①校舎周辺や地域の清掃活動に取り組み、社会参加への主体性と奉仕の精神を養った。 ②校内フォトコンテストは実施することができた。作品展には家庭科教員不在のため、作品を出品することができなかった。 | | |
| 教職員の資質向上と、教職員の働き方改革を推進する。 | ①様々な研修を受講し、各自のスキルや意欲の向上を図ると共に、会議やOJT等で共有を図る。 | 評価指標 | ①教員研修を様々な形態で20回以上実施することにより研究と修養に努め、教員の資質と専門性の向上を図る。 | 評価指標の達成度 | ①校内コンプライアンス研修及びその他の研修を2/1現在で20回実施している。また、校外での様々な研修にも参加し、資質・能力や専門性の向上に努めることができた。 | 総合評価 （評定） B ----- （所見） 教育委員会からの通知文の周知を徹底し、コンプライアンス意識の醸成を図っていただきたい。 | 学校行事や業務内容の点検を引き続き職員全員で実施し、勤務の効率を向上させ、働き方改革の推進につなげる。 |
| | | 活動計画 | ①全教員が各研修を積極的に受講し、実践力を高める。 ②始業時と終業時の毎日2回の打合せやOJTにより、研究と修養に務める。 | 活動計画の実施状況 | ①全教員が意欲的に各研修を受講し実践力を高めた。 ②打合せやOJTにより、情報共有を行い、一人ひとりの生徒の課題に対応したきめ細かな指導を行うことができた。 | | |